

化学療法部

1. スタッフ

部長（兼）病院教授 水木 満佐央

その他、助教2名（助教は特任を含む。）

2. 設立とその後の経過

外来化学療法室設置以前の本院における外来化学療法は、平成14年度に行ったアンケート調査では年間約4,700件が施行されていた。これらは各診療科がそれぞれの外来処置室において実施したものであり、その治療内容にはリスクマネジメント上多くの問題点が認められた。これらの諸問題を解決すべく、平成15年12月に外来化学療法室が設置された。化学療法の副作用に対する支持療法の発達、外来治療による患者のQOLの向上、在院日数の短縮の要請、外来化学療法加算の算定等の要因により、その受け入れ患者数は年々増加している（図1）。平成18年1月には現在の当部の形へと組織の拡充が行われ、9月より専任部長が配置となった。外来化学療法室の利用数の増加に対応するために、平成19年10月に2床増床、平成21年5月にさらに2床増床が行われた。平成21年の増床時に外来化学療法室に隣接して臨床試験部の治療用病床3床が整備された。平成21年5月以降は、臨床試験部との共同運用も含めて19床の運用となり、臨床試験の治療も当室にて施行することが開始された。平成19年度、文部科学省のがんプロフェッショナル養成プランが採択されたことに伴い、がん診療の中央部門である化学療法部門、放射線治療部門、緩和医療部門によるオンコロジーセンターが平成20年度に開設された。平成27年度には新規に、オンコロジーセンター棟が開設となり、患者は血液検査、診察、治療を棟内で完結できる施設が整備されるとともに、今までの倍の42床のベッドが配置され、より多くの患者へより快適で安全な治療を提供することが可能となった。

3. 活動内容

現在、外来化学療法室ではほぼすべての診療科のがん化学療法を行っている。利用は予約制で開設当初は1日20枠、平成21年7月より1日40枠としていたが、平成27年9月オンコロジーセンター棟開設と共に50枠に増加。平成28年7月より65枠、平成30年9月より75枠とした。患者は、オンコロジーセンター棟内の診察室もしくは担当診療科での診察後に化学療法室で抗がん剤の投与を受ける。すべての抗がん剤の調製は、薬剤部で専任薬剤師が無菌的かつ厳密に調製を行い、投与中の患者管理は専任看護師と専属の医師が行っている。

4. 活動実績

外来化学療法室の開設当初は1日平均15.9人の利用患者数であったが、図1及び表1のとおり年々増加傾向を続けており、平成31/令和元年度の年間利用者数は12,801件、1日平均52.9人の利用となっている。なお、平成27年度9月～平成28年3月のオンコロジーセンター棟での診察件数は1,600件、採血件数は988件、平成28年度と同診察件数2,948件、採血件数4,058件、平成29年度と同診察件数3,550件、採血件数5,391件、平成30年度と同診察件数3,978件、採血件数6,537件、平成31年/令和元年度と同診察件数4,291件、採血件数7,254件であり、オンコロジーセンター棟で採血、診察、治療を受けて頂ける体制を整備している。

診療科別の利用状況では、表1のとおり、がん診療に従事するほぼすべての診療科が利用している。慢性関節リウマチなどの免疫疾患に対する抗体療法は平成19年度から受け入れている。小児患者については、小児科医師、看護師、チャイルド・ライフ・スペシャリスト等と十分な事前相談の上で治療を行っている。快適な治療環境を提供するため、テレビ付きのリクライニングチェアの導入、プライバシーを保つことのできるスペースの確保により、患者がリラックスできる環境作りにも努力している。特にオンコロジーセンター棟開設にあたり、長時間治療の患者へ快適に利用頂けるように、17床のベッドを配置し、小児患者専用の治療エリアを設けている。また、平成28年12月より、抗体製剤については看護師による血管穿刺を開始し、待ち時間減少を達成するとともに、採血を含む治療の開始から終了までの一貫した看護師によるケアの施行による、患者サービスの向上に努めている。さらに、平成30年4月からは、一定の研修を修了した看護師を、抗がん剤投与時の血管穿刺を安全に施行できる能力を有するIVナースとして認定し、抗がん剤治療に関しても看護師による血管穿刺を行っている（壊死性抗がん剤を除く）。

今後とも本院のがん患者が安心、安全、快適に抗がん剤治療が受けることができるように、オンコロジーセンター棟及び化学療法室の機能を充実させると共に、薬剤部及びオンコロジーセンターの他部門である緩和医療部門、小児部門、がん情報部門と協同しがん診療を行う各診療科との連携を密として、本院におけるがん診療の整備・向上に積極的に貢献していく。

表 1. 化学療法室利用状況

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	
乳腺・内分泌外科	2730	2836	2688	2528	1991	2096	1963	2031	1955	1952	
消化器外科	927	671	819	925	965	1170	1566	2285	2740	2963	
呼吸器内科	260	267	262	286	418	531	633	528	710	926	
産婦人科	180	164	202	377	401	386	673	788	686	700	
泌尿器科	232	247	204	204	185	149	151	295	398	551	
血液・腫瘍内科	590	776	1010	963	899	797	696	794	1029	1010	
消化器内科	380	614	655	568	642	803	763	617	612	673	
脳神経外科	46	97	111	149	235	252	80	81	102	104	
呼吸器外科	90	39	24	14	19	10	0	0	0	0	
皮膚科	4	12	28	9	78	141	206	230	271	376	
小児科	25	52	80	74	56	6	30	44	27	62	
免疫内科	48	115	153	54	42	15	1	3	5	5	
整形外科								43	19	57	
耳鼻咽喉科								151	229	407	
その他	0	0	0	0	0	0	7	0	3	0	
がん以外の治療(抗体製剤)	免疫内科・呼吸器内科	817	943	1086	1351	1319	1174	1216	1189	1093	1103
	眼科	65	3	70	66	65	20	0	0	0	0
	消化器内科	183	240	227	231	253	299	325	371	406	426
	皮膚科		7	58	103	73	80	89	89	53	51
	整形外科	271	278	352	394	208	82	78	83	71	72
	小児科	11	24	21	29	81	72	51	49	47	38
	血液・腫瘍内科			5	36	28	61	74	101	99	96
	神経内科									23	37
治験	279	237	167	266	545	717	1107	1189	1147	815	
動注	3	6	10	4	7	0	0	0	0	0	
その他(加算外)						163	545	307	478	377	
合計	7141	7628	8232	8631	8510	9024	10254	11268	12203	12801	
1日平均利用数	29.4	31.3	33.7	35.4	34.9	37.1	42.2	46.2	50.2	52.9	

図1 年間延べ患者数及び1日平均利用患者数

